



令和4年度 自彊小学校 学校評価結果（11月）

日頃より本校の教育活動に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、11月に児童・保護者の皆様を対象に行った学校教育評価アンケートの結果をお知らせします。
いただいた意見・要望は、全職員で共有し、今後の教育計画立案に反映させていただきます。

※アンケート結果について %は肯定的な評価をあらわしています

グラフの見方

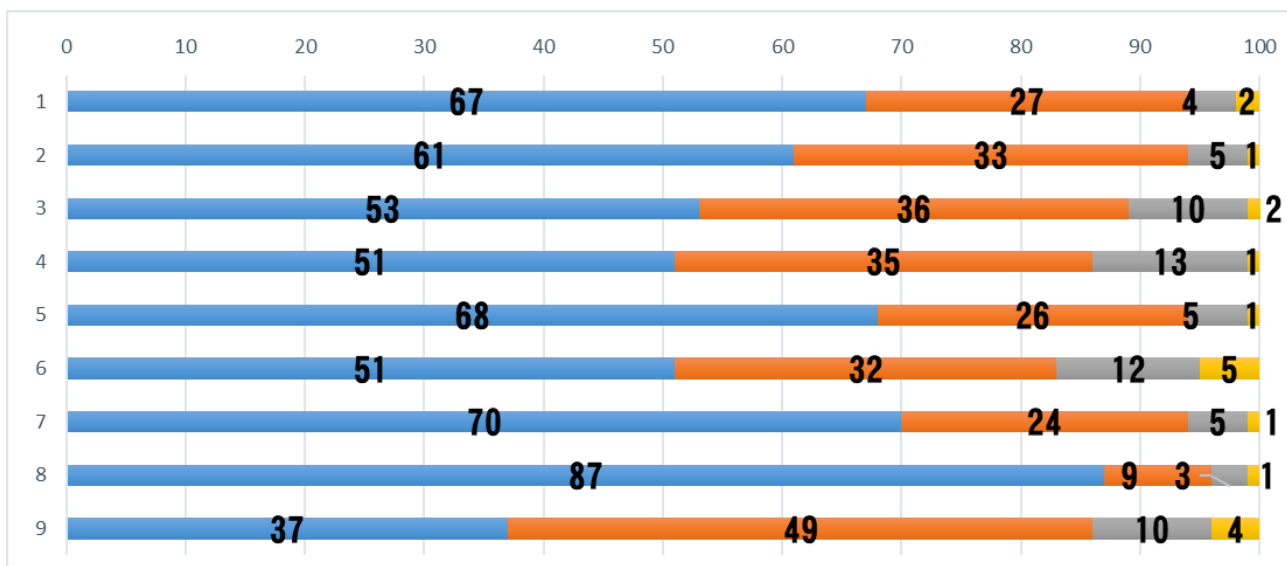
■…あてはまる ■…ややあてはまる

■…ややあてはまらない ■…当てはまらない ■…無回答

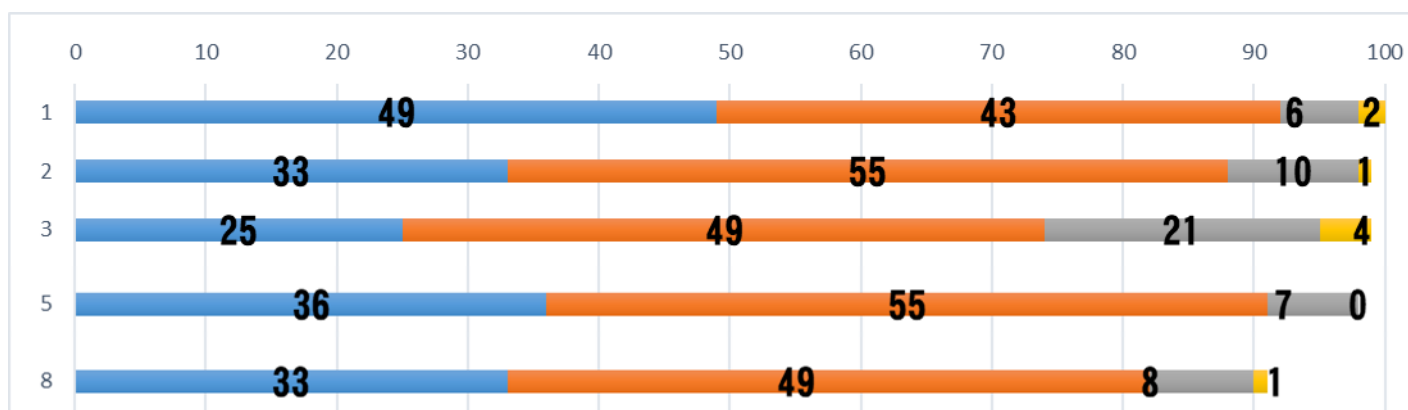
① 学校生活について

	質 問	児 童	保 護 者
1	学校が楽しい	94%	92%
2	めあてにむけて努力や挑戦をしている	94%	88%
3	進んであいさつができる	89%	74%
4	「だまってそうじ」を守っている	86%	
5	友達を手伝ったり助けたりしている	94%	91%
6	自分のよさを3つ以上あげることができる	83%	
7	友達のよい所を見つけることができる	94%	
8	先生方は、いじめのない学校になるように取り組んでいる	97%	82%
9	授業が始まる前に準備をして席に着いている	86%	

児童集計 (%)



保護者集計 (%)

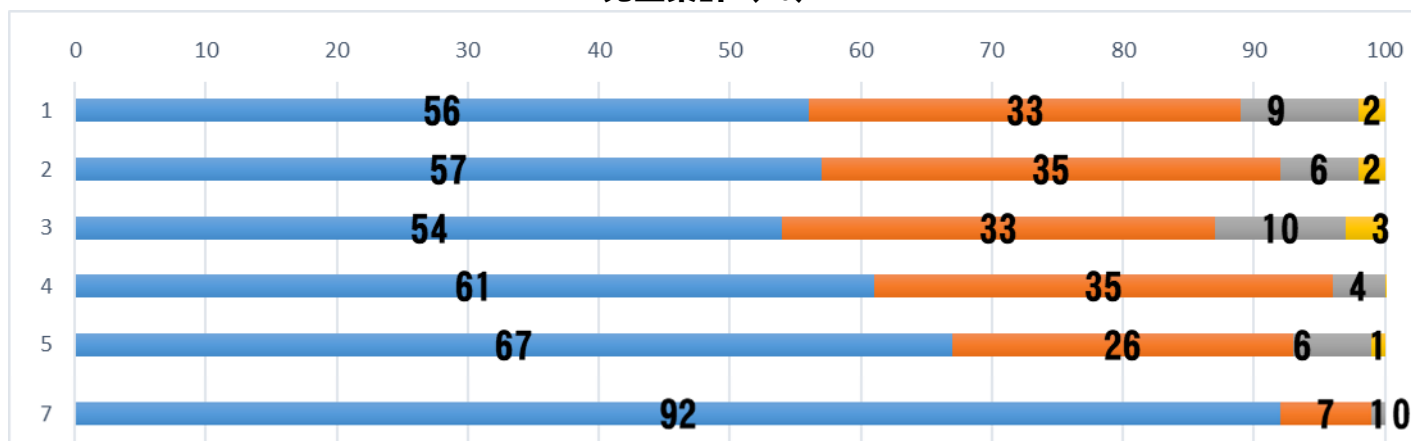


○「学校が楽しい」という項目は児童も保護者も7月のアンケート結果よりも数値が上がっています。後期に行われた音楽発表会、修学旅行、観音山などの活動をとおして、子供たちが充実した学校生活を送ることができていることがわかります。また、友達や自分の良さを見つける意識も高まっています。しかし、これまでも課題となっているあいさつでは、毎日、友達や職員室の職員に気持ちよく「おはようございます」とあいさつができている子がいる一方で、まだ地域の方からのあいさつに対してあいさつを返すことのできない子もおり、意識の二極化が現れています。現在素晴らしいあいさつができている子をお手本としながら、全校に広めていきたいと思えます。

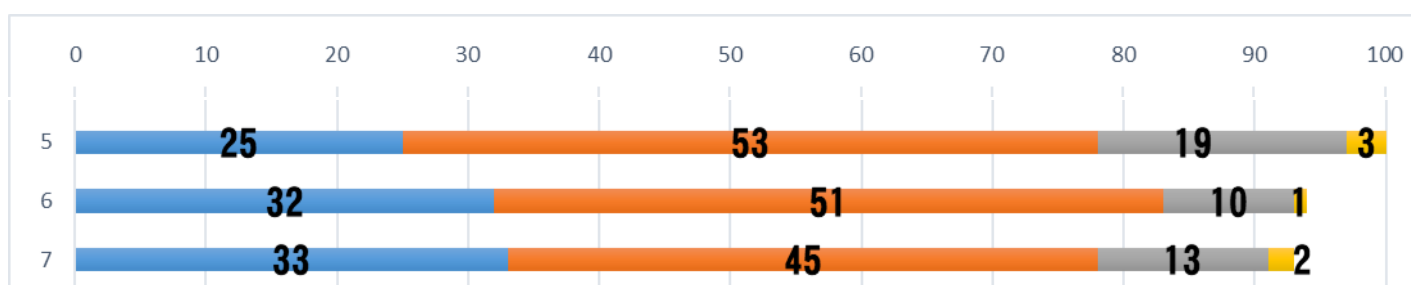
② 学習について

	質 問	児童	保護者
1	授業では自分の考えをもつことができる	89%	
2	授業では友達と伝え合って学ぶことができる	92%	
3	授業で友だちの考えと同じところや違うところに気付くことができる	87%	
4	友達の考えをわかろうとして最後まで聴くことができる	96%	
5	授業の内容が分かる	93%	78%
6	教職員は授業の内容が分かるまで教えている		83%
7	学習のためにパソコンやタブレットが役立っている	99%	78%

児童集計 (%)



保護者集計 (%)

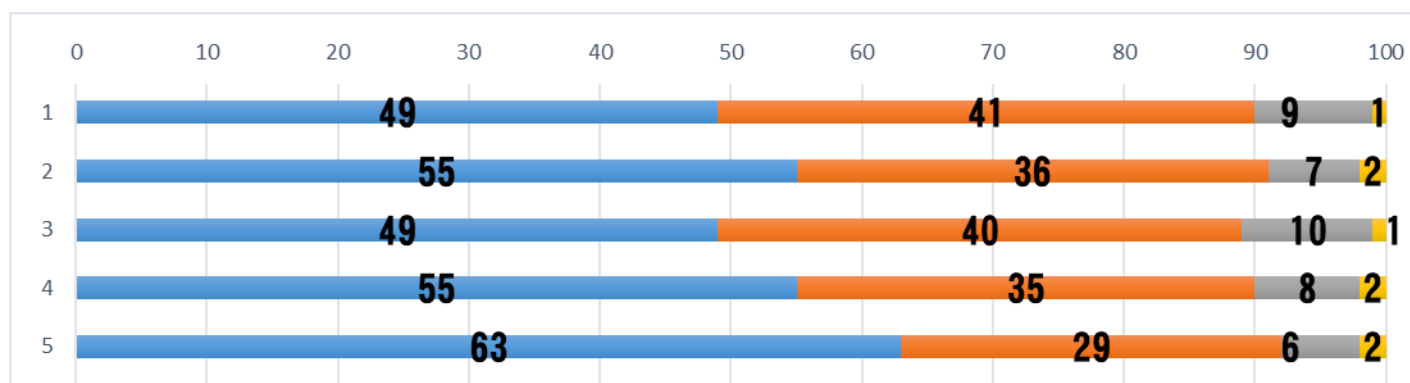


○自彊小では、今年度子供たちの授業に対する意識を変えようと授業を行ってきました。これまでの「教えてもらう授業」から「自ら学ぶ授業」への転換です。学習に必要な知識はきちんと教えた上で、子供たちが学びたいと思うことを、自分たちが考えた方法で解決していく授業を目指しています。子供たちも、友達と伝え合ったり、グループで相談したりすることが当たり前になってきました。また、高学年はPCを使ってスライドにまとめたり、アンケートをとったりしながらICTを自ら活用した学習を進める力が身に付いてきました。低学年からICTを活用する場面を意図的に作っていきます。前期で課題となっていたPCの使い方については改善が進んできました。学校でインターネットにつながる時間を制限する設定を行ったり、各クラスでルールを確認したりすることを行っています。

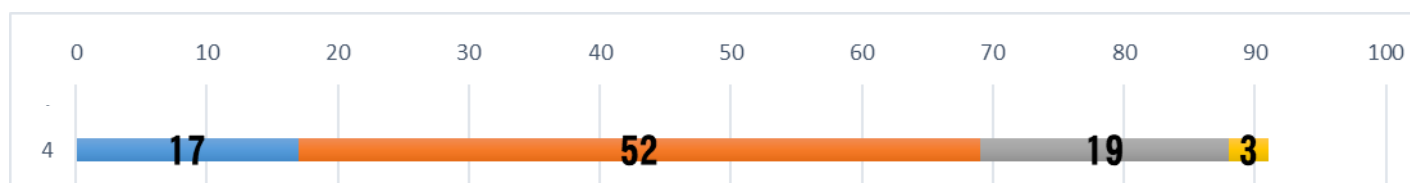
③ 学校行事・特別活動について

	質 問	児童	保護者
1	自分のめあてを立てて生活することができる	90%	
2	学校や学年の行事を通して、自分のできることに挑戦する	91%	
3	よりよい自分や学級になるように自分のできることを行動にうつすことができる	89%	
4	友達や地域の方に進んで関わり、協力している	90%	69%
5	進んで係活動や委員会活動に取り組んでいる	92%	

児童集計 (%)



保護者集計 (%)

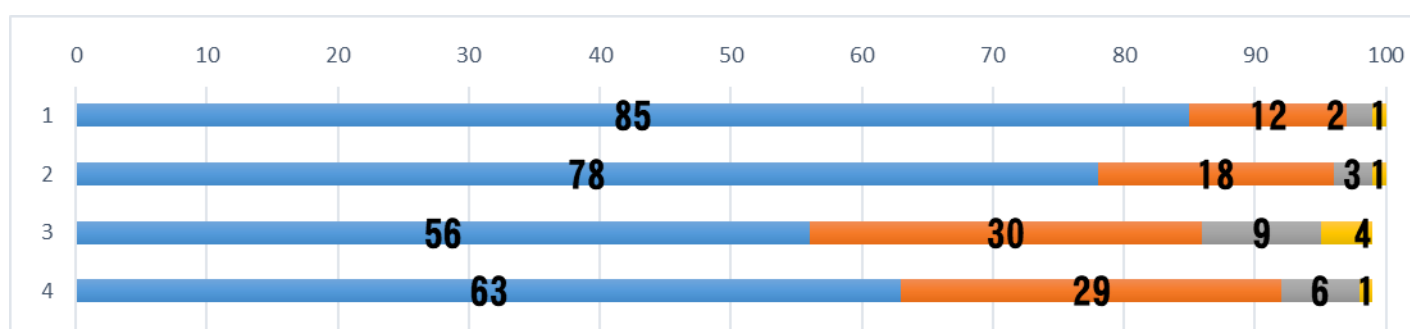


○後期の学校行事では特に高学年を中心に子供たちが工夫をこらす場面が多くありました。例えば、音楽発表会では、全校で歌が歌えない代わりに全校ダンスを5・6年生が中心となって振り付けを考え、低学年に教えていました。先生から言われて動くのではなく、自分たちで考え、企画から運営まで行うという経験を積むことができました。また、地域との関わりについては、学校ボランティアの方に朝の読み聞かせや、調理実習のお手伝い、校外学習の引率など多くの場面で学校を支えてくださっています。1月からは「ともにポスト」が設置されたので、地域からの意見をより多く学校に反映できるようにしていきたいと思います。

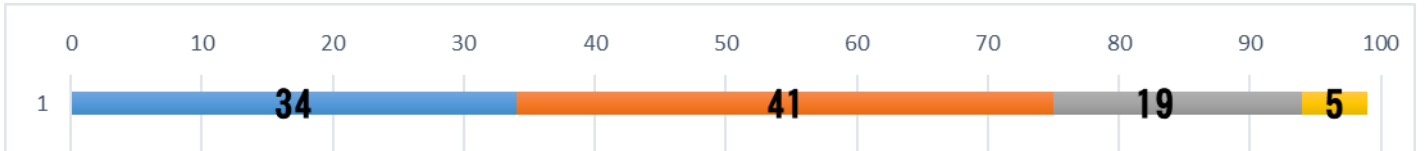
④ だれもが安心して過ごせる学校のために

	質 問	児 童	保 護 者
1	朝の支度や次の日の支度を自分で行うことができる	97%	75%
2	自分の持ち物や提出物をどこに置けばいいかわかる	96%	
3	教室は自分にとって居心地のいい場所である	86%	
4	落ち着いて生活できている	92%	

児童集計 (%)



保護者集計 (%)



○安心した学校生活を送るためには、朝の支度が自分でできる、提出物をしっかりと出すといった基本的なルールを守ることが大切です。毎日決められてことを確実に行うことで、生活の安心感につながります。これは、ユニバーサルデザインの考え方に基づいています。学校の落ち着いた雰囲気は子供と教員と一緒に作り出すものです。あいさつなどの基本的な生活習慣、学習へ向かう態度等、一つ一つの積み重ねが学校を居心地のいい場所へと変えていきます。

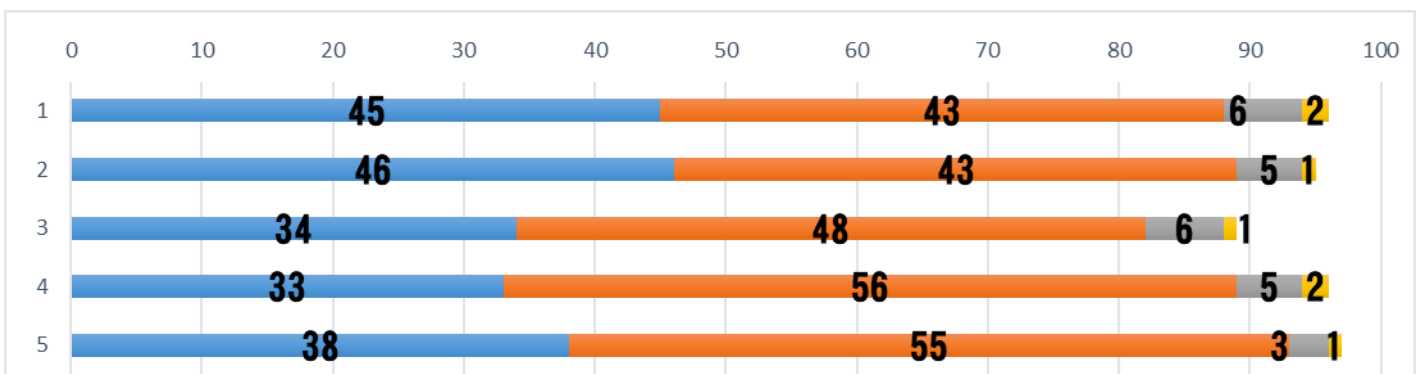
⑤ 学校運営について

	質 問	児 童	保 護 者
1	学校に相談できる先生や信頼のできる先生がいる	93%	88%
2	学校は保護者からの相談に応じている		89%
3	学校は、お便りやホームページ等で子どものよさを見つけ、伝えようとしている		88%
4	学校の教育に満足している		89%
5	地域と共にある学校を目指し、地域との関わりを重視している		93%

児童集計 (%)



保護者集計 (%)



○自彊小学校では、月に1日希望面談日を設定し、保護者からの相談を受け付けている。また、後期から学校からのお便りを電子化し、連絡方法の利便性を向上させた。今後もICTを活用するなどし、御家庭に学校での子供たちの様子をできるだけわかりやすく伝えていきたいと思ひます。

⑥ その他（保護者の方からいただいた意見）

○時々、タブレットの不調がないか声掛けして、不具合箇所がある時は対策していただきたいです。

○パソコンのキーが押しにくい為相談したところ、修理に時間がかかる、代わりのパソコンがないと聞きました。中学まで使うということなのでもう少しなんとかしてもらえると良いと思ひます。

・PCは毎日使うものなのでどうしても不具合が出ることがあります。その場合にはできるだけ早く修理に出していますが、予備のPCがないため、直るまでPCが使えなくなることがあります。また、子供たちの使い方も指導をしています、キーボードを強く連続してたたいたり、無理に机やかばんに入れたりしている姿も見られます。あくまでもPCは町から貸し出されているものなので、丁寧に使うように学校と家庭で確認していきたいと思ひます。また、御家庭のPCでログインできる場合はPCは持ち帰らなくてもよいことになっていますので、御検討ください。

○学校からのお便りの電子化について

・学校からのお便りの電子化について保護者の皆様からたくさんの御意見をいただきました。ありがとうございました。結果「子供が渡すのを忘れにくい」「見落としがなくなる」「無くすことがない」等の肯定的な意見をたくさんいただきました。一方で「月予定は家に貼るので紙の方がよい」という意見もいただきました。そこで、それ以外のお便りについては原則電子化としていきます。御協力ありがとうございました。

アンケートへの御協力ありがとうございました。